

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:2020年7月1日

事業所名 narel本町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12			児童が学習に集中できる環境・余暇を過ごす場所づくりなど、活動場所の工夫を行っている
	2	職員の配置数は適切である	12			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12			つまづく箇所が無いように適切に確認している
業務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	2		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12			書面にて保護者へ結果報告する。ホームページへは適宜掲載していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	8		第3者による外部評価の在り方や時期について検討中である
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12			適時確認し、研修へ参加するよう促している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12			利用児童と保護者の意向に基づいて、原案を作成し、サービス担当者会議にて具体的な取り組み内容や留意点を話し合い、支援計画を作成している
適 切 な 支 援 の 提 供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12			子供たちが楽しく過ごせるよう工夫している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12			学習支援・余暇活動など、メリハリのあるプログラムを実施している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12			子供たちそれぞれに応じて作成支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	12			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	2		共有ノートに記載をし、申し送りを行ってい、毎日昼礼を行い共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12			支援の検証等については今後の課題
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12			見直しの必要性は判断している。児童への関わり方や学習指導の在り方など、必要に応じて工夫を図っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	4		

関係機関や保護者との連携	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	8		今後、積極的に取り入れていきたい。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12			適時、子供や保護者へ確認を行っている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	11		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	2		契約面談にて保護者より情報を頂いている
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	10		まだ対象児童が居ない。
	25 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	6		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		12		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10	2		積極的に参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	6		保護者の来訪時や送迎時・電話応対時等に児童の様子等をお伝えしている。成長が見られる点、伸ばしていきたい所など、より共有を図っていきたい
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特訓・トレーニング等の支援を行っている	4	8		面談時に事例紹介など行っている
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	4		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	2		保護者様より気軽に連絡相談して頂けるよう努めます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	10		今後、保護者会等の開催を含めて検討していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	2		事案によって行政や関係機関に指示を仰ぎ、適切に対応できるよう心がけている
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		12		ホームページへ適宜活動記載していく。
	35 個人情報に十分注意している	12			書庫の鍵かけ等も含めて徹底啓発している。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12			ユニバーサルデザイン等や環境の構造化などに取り組んでいる
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		12		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12			コロナウィルス対策等、周知徹底している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12			年度内には実施する
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	12			初回支援計画ではよほどの事がない限り、見極め時期とみなし、身体拘束の計画(必要背の有無、理由、内容、時間、報告)の作成はしていない。次回の見直し時より、必要な場合は保護者の同意を得て、記載する意向
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12			保護者よりアレルギーの有無など事前に聞き取りは行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12			事例が少数につき、ファイルに保管している